

事務事業チェックシートの見方

事務事業チェックシート

※平成25年度の評価対象外事業は、「事業進捗管理シート（事務事業チェックシート表面のみ）」を作成

事務事業No 事業名

第4次和歌山市長期総合計画の前期基本計画上の位置付けを記載しています。

分野別目標	
政策	
施策	
取組	

事業種別		主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)			
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			

市長が掲げる「3つのキーワード（視点）」との関連性を表しています。

「3つのキーワード」との関連性			
いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	対象（誰・何）を「どういう状態にする」ために行う事業なのかを記載しています。	事務事業の全体内容、事業目的を達成するための手段を記載しています。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度

事務事業の年度ごとの実施内容を記載しています。

2 事業コスト

事業費 千円			平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費											
	伸び率 (%)											
	人件費	常勤職員										
		非常勤職員										
		小計										
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他												
一般財源(税等)												
所要人数	常勤職員											
	非常勤職員											
主な予算内訳												

各年度ごとの事業費と人件費を記載しています。事業費は人件費を除いたものを記載し、人件費については平均給与で計算したものを記載しています。

「年度目標値」⇒各年度の目標値を記載しています。
 「実績値」⇒当該年度の実績値を記載しています。
 「年度別達成度」⇒各年度の目標に対する達成度（進捗率）を記載しています。
 数値化できない指標は、A（事業が効率よくできた）、B（事業が概ねできた）、C（やり方を変える必要がある）で記載しています。

3 目標及び実績

活動指標	目的を達成するために市が行ったことを指標として記載しています。また、下段には指標の単位、全体目標値、全体目標に対する進捗率を達成度として記載しています。				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	年度目標値								
	実績値								
	年度別達成度								
成果指標	市が行ったことにより対象がどのように変化したかを指標として記載しています。また、下段には指標の単位、全体目標値、全体目標に対する進捗率を達成度として記載しています。				年度目標値				
	実績値								
	年度別達成度								
	年度目標値								
		実績値							
		年度別達成度							
		年度目標値							
		実績値							
		年度別達成度							

4 事業の評価

評価基準		「妥当性」、「有効性」、「効率性」の3つの視点からの事業の評価（点検）を行っています。該当するところに“○”を記載しています。		
[妥当性]事業のニーズはあるか				減少している
[妥当性]事業手段は妥当か				見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

今後の事業の方向性について、「事業内容の方向性」と「コスト投入の方向性」から評価を行い、1箇所にも“○”を記載しています。

担当課評価の根拠

上記の「今後の方向性（担当課評価）」を決定した根拠を記載しています。

「見直し」
「改善」案

「見直し・改善」が必要だと判断した事業については、今後の「見直し・改善案」を記載しています。

※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「**現状維持**」以外の場合は記載